

阿蘇医療センター広報誌



Take Free

ご自由に
お持ち
ください

夏号

2015年7月発行

阿蘇医療センター基本理念

本院は、地域の中核病院として、地域の医療機関や関連施設等と連携を図りながら、患者の視点に立った医療の提供を実践し、地域住民の健康維持と福祉の向上に貢献する。

Contents

◆表紙	P 1
◆事業管理者挨拶／健康管理アドバイス	P 2
◆外来診療体制／波野診療所診療体制	P 3
◆看護部だより	P 4
◆看護部だより／救命処置コースの紹介	
／新人紹介	P 5
◆部門紹介／職員募集／トピックス	P 6
◆トピックス	P 7
◆阿蘇の山野草／行事予定／編集後記／ ちょっとひと工夫簡単料理	P 8

職員募集
看護師・薬剤師

詳しくは HP をご覧ください

阿蘇市病院事業管理者(阿蘇医療センター院長)挨拶

阿蘇医療センター開院1年

開院時は常勤医師が少ない中でのスタートでありましたが、4月から9人体制となったことにより、ソフト、ハード面の両面が整ってきました。今後は、時間外においても担当の医師が居る場合は、急性期の脳梗塞に有用なt-PA治療（血栓溶解療法）や心筋梗塞になられた方を、熊本市内まで搬送することなく、当院で診察や治療ができるようになります。（開院後、t-PA治療が10件、心筋梗塞に対するステント治療が25件施行できています。）

また、本年度は、阿蘇地域で疾病の割合が高い糖尿病の専門外来を新設しましたが、更に胸腔境下手術の実施、睡眠時無呼吸症候群の専門外来の開設、内視鏡検査の拡充、MRI装置（超電導磁気共鳴診断装置）による認知症検査の実施など高度な医療設備・機器を活用した先進的検査による診断・治療を行っていくこととしていきます。

波野診療所においても、6月から非常勤医師を任用したこと、毎週水曜日が休診日であります。現在は、月曜日から金曜日まで診察ができる体制となりました。

自治体病院としての使命を果たすとともに、阿蘇地域の中核病院として責任ある医療を提供し、地域の方に「信頼」していただけるよう取り組んで参りますので、どうぞよろしくお願いします。



甲斐 豊

健康管理アドバイス～熱中症のお話～

阿蘇医療センター内科医師 稲田 啓介



熱中症は、毎年5月頃から発生し、7月から8月にピークを迎えます。梅雨が明け急に暑くなる7月には、体が暑さに慣れていないため、例年熱中症による救急搬送者数や死亡者数が急増します。小さな子どもや高齢者、病気の方などは特に注意が必要です。熱中症は重症度により以下のように分類され、死に至るおそれもあります。

《熱中症の原因》

人間の体は、血管を広げて体内の熱を放射したり、汗をかいたりして体温の急激な上昇を防いでいます。しかし、気温が高いと体内の熱は放散されず、湿度が高いと汗は蒸発しません。熱中症は、周りの温度に体が対応できず、体内の水分や塩分（ナトリウムなど）のバランスが崩れ、体温の調節機能がうまく働かないなどが原因で起こります。

《熱中症の予防》

- ①エアコンの使用：屋外での作業を控えることはもちろん、熱中症は屋内でも起こりますので、我慢しそうに適切にエアコンを利用しましょう。
- ②水分、塩分の摂取：高齢者は、暑さを感じにくく、体温調節機能や暑さに対する抵抗力も弱くなっています。またの渴きを感じにくいため、のどが渴いていなくても、早めに水分補給をしましょう。水分の補給に合わせて塩分の摂取も欠かせません。塩分補給の目安となる量は、補給する水分の0.1～0.2%程度で、スポーツドリンクを利用するのが手軽な方法です。スポーツドリンクには糖分が多く含まれるため、糖尿病の方などには、麦茶と梅干の組み合わせもオススメです。麦茶0.5～1リットルに対して梅干1個が適量です。かかりつけの病院をお持ちの方は、摂取量は主治医にぜひ相談してください。
- ③小さい子どもは、汗腺などの体温調節機能が十分に発達しておらず、また身長が低く地表面からの熱の影響を受けやすいため、特に注意が必要です。顔が赤かったり、ひどく汗をかいたりしているときには、深部体温がかなり上昇していると推察されます。普段から、風通しの良い涼しい衣服を着せ、涼しい場所で十分に休ませ、水分をこまめにとらせるようにしましょう。

《熱中症の応急処置》

- ①涼しい場所で休む。木陰やクーラーの効いた室内へ移動する。
- ②衣類をゆるめて休む。
- ③体を冷やす。濡らしたタオル等で体を冷やしたり、冷風をあてたり、脇の下や股などの大きな血管が通る部分を冷やす。
- ④水分、塩分を補給する。
このような応急処置を行っても、症状が改善せず、体温が高く意識がはっきりしない場合などは、すぐに病院に連れて行ってください。

以上、熱中症に関して簡単にご説明いたしました。元気に暑い夏を乗り切りましょう。

阿蘇医療センター 外来診療体制

平成27年7月1日

診療科		月	火	水	木	金
内科	午前	湯本 信也 宮本 誠	宮本 誠 稻田 啓介	湯本 信也 稻田 啓介	宮本 誠 稻田 啓介	湯本 信也 宮本 誠
	午後	宮本 誠	湯本 信也 (HOT外来のみ)	休	佐藤 英明	休
脳神経外科	午前	甲斐 豊	甲斐 豊	休	甲斐 豊	甲斐 豊
	午後	休	休	休	休	休
循環器内科	午前	由布 哲夫	由布 哲夫	永吉 靖央	平川今日子 (熊大病院循環器内科)	永吉 靖央
	午後	由布 哲夫 (睡眠時無呼吸症候群外来)	休	休	休	休
小児科	午前	橋山 元浩	熊大病院小児科	橋山 元浩	橋山 元浩	橋山 元浩
	午後	橋山 元浩	熊大病院小児科 (受付16時30分まで)	橋山 元浩	橋山 元浩	橋山 元浩
神経内科	午前	渡邊 裕文	休	渡邊 裕文	森 由紀子 (熊大病院寄付講座)	休
	午後	休	休	休	森 由紀子 (熊大病院寄付講座)	休
消化器外科	午前	休	中川 真英	近本 亮(熊大) (第3水曜日のみ)	中川 真英	休
	午後	休	休	近本 亮(熊大) (第3水曜日以外)	休	休
内視鏡検査	午前	稲田 啓介	湯本 信也	宮本 誠	湯本 信也	中川 真英
	午後	休	担当医	担当医	高野病院	担当医

■その他診療科の診療体制

診療科	診察日等		
皮膚科	毎週月曜日	(受付:午前11時まで)	緒方 亜紀(熊本大学附属病院)
整形外科	毎週金曜日	(終日)	湯上 正樹(熊本大学附属病院)
リハビリテーション科	毎週水曜日	(終日)	大串 幹(熊本大学附属病院)
リウマチ膠原病内科	第3水曜日	(終日)	中村 正(くまもと森都病院)
乳腺内分泌外科	第3水曜日	(午後)	岩瀬 弘敬(熊本大学附属病院)
腎臓内科	第1土曜日	(午前)	岡村 景子(熊本大学附属病院)
糖尿病・代謝・内分泌内科	第2・4金曜日	(終日)	小野 薫(熊本大学附属病院)
■ 受付・診療時間	一般外来 (月・水・木・金)	午前 受付時間	8時30分から11時30分(診療時間 9時~12時)
		午後 受付時間	13時から16時30分(診療時間 14時~17時)
■ 救急外来	小児科 (月・水・木・金)	午前 受付時間	8時30分から11時30分(診療時間 9時~12時)
		午後 受付時間	13時から18時(診療時間 14時~18時15分)
24時間体制で対応しておりますが、当直医によっては専門外の場合もございますので、できる限り事前にご連絡ください。			

■波野診療所

診療科	月	火	水	木	金
内科・外科	高野病院	渡邊 裕文	三宅喜代子 (内科)	三宅喜代子 (内科)	稲田 啓介
整形外科	休	休	休	熊本整形外科病院 (午前中のみ)	休
歯科	高宗 康隆	高宗 康隆	休	高宗 康隆	高宗 康隆

看護部だより

看護部理念

病院理念に基づき、看護師として地域住民の健康維持と
増進のため安全で質の高い看護を提供する

看護部基本方針

- 専門職として根拠に基づいた看護の実践
- 患者の生命、人権を重んじ患者と共に考える、患者参画型看護の提供
- 主体的に学び、仕事に自信と誇りがもてる人材育成
- 他職種と協働するチーム医療の確立
- 地域医療と連携し継続した看護の提供
- 個々のコスト意識を高め、経営改善を図る

新人研修

看護部の理念、基本方針に基づき、新人職員への研修計画を立案し、1年で一人立ちできるように支援を行っています。

3か月に入ると新人同士で意見交換会を行いそれが感じている不安等の思いを表出する場を設け、気持ちを切り替えて次へ進みます。また就職後6か月には、看護師長、主任看護師、プリセプター看護師、新人と共に振り返りを行い、技術面、患者様への対応、ケア内容等多方面から到達度を確認します。未到達部分については、個人個人に合わせて、プリセプターが中心となりスタッフ全員で指導していきます。



新規採用された看護師全員が、ともに2年目に巣立っていくことを目指していきます。



研修の様子

現場教育

基礎看護技術の習得

原理・原則に基づいた
基本看護技術を身につける。

先輩看護師とともに看
護を実践する。

受け持ち患者の看護の習得

患者を受け持ち、情報
収集、問題点を抽出し、
先輩看護師とともに看
護計画を立案し、実践
評価をおこなう。

振り返りからの評価

受け持ち患者の実例を
通じ看護の方向性を身
につける。
チームメンバーの役割
を果たす。

集合教育

新規採用者オリエンテーション

新規採用者研修①

看護管理医療安全の基礎、
入院の手順、接遇、病棟・外来
の概要、感染防止
看護技術
酸素吸入、輸液ポンプの使い方
心電図のとり方、注射薬管理、
吸引、内服薬管理など

新規採用者研修②

救急時の対応・看護記録

新規採用者研修③

メンタルヘルス
フィジカルアセスメント
人工呼吸などに関する研修

新規採用者研修④

事例からのきづき研修
静脈注射基礎研修
一年の振り返り

スタッフナースとしての自立

当院の看護師長が公益社団法人日本看護協会による資格認定を取得!!

認定看護管理者(サードレベル)に合格! 看護師長 木村仁美

5月の試験が終了し、無事に認定看護管理者【サードレベル】として登録されました。

看護管理者として日々実践していますが、社会情勢の変化とともに、医療を取り巻く環境も刻々と変化していることを実感しています。私たち医療スタッフは、超少子高齢社会を迎えており、地域住民の皆様が住み慣れた地域で安心して暮らしていくよう、整えていく必要があります。そのためにも、患者様がより質の高いケアを受けることができるよう、看護師育成に力を入れていきたいと思います。また、看護師の働く環境の改善も大きな課題となっています。社会情勢にあわせて、自分たちの施設においても働く環境が改善できるよう、努力します。これからも、どうぞよろしくお願ひいたします。



がん化学療法認定看護師に合格!

看護師長 佐藤美和



平成27年7月7日(火)日本看護協会主催の第23回認定看護師がん化学療法看護分野に、無事合格することができました。無事に合格することができたのは、優しく厳しく導いてくださったセンターの先生方、仲間、実習施設の看護部長と実習指導者の方々、受持ちを承諾していただいた患者様、新築移転というタイミングのなか、快く6か月間の研修を送り出させていただいた病院長と看護部長、外来看護スタッフへ心から感謝申し上げます。

これからがん化学療法看護分野の認定看護師として、がんとともに生きる患者さま及びご家族の心に寄り添い、包括的・全人的(身体面・精神面・社会面・スピリチュアルな側面)に捉え、必要とされる支援を医師・看護スタッフ・各専門部署と連携して患者さま中心のがん医療が提供できる病院を目指し努力いたします。そして認定看護師の3つの役割(実践・指導・相談)を果たすため活動していきます。よろしくお願ひいたします。

受講者募集!

【臨床工学室】BLS/ACLS(一次・二次救命処置)コースの紹介

院内および地域の救急医療と医療の質の向上を目的として、日本医療教授システム学会国際トレーニングセンター(JSISH-ITC)の提供するアメリカ心臓協会(AHA)公式コースである以下のコースを開催しております。資格取得ご希望の方は是非応募してください。

なお、本コースの全課程を修了し、筆記試験・実技試験に合格すると、2年間有効のAHA公式認定カードが発行されます。BLSは国際ガイドラインに基づいた一次救命処置教育訓練プログラムです。大人の傷病者に対する人工呼吸と胸骨圧迫、AEDの使い方に加えて、乳児と小児のCPR、気道異物除去などを学びます。ACLSは二次救命処置の提供者を育成する実践的トレーニングコースです。手動式除細動器、気道管理、脳卒中、急性冠症候群、VF/VT、PEA/Asystole、徐脈、頻脈など、心停止と心停止に至る直前の評価と対応をAHAガイドラインに沿って学びます。

『開催コース』

AHA BLSヘルスケアプロバイダーコース(一次救命処置トレーニング)
原則として月1回 開催(1コース4~5時間)
AHA ACLSプロバイダーコース(二次救命処置トレーニング)
年に2回の開催を計画(1コース2日間)

*開催内容、参加経費等については下記にお問い合わせください。

開催日、申込先は「AHA JSISH-ITC」のホームページ上でもご覧になれます。



連絡先

阿蘇医療センター 臨床工学室 臨床工学技士
TEL:0967-34-0311 内線:240 Mail: satou-k@aso-mc.jp

新人職員紹介
7月1日採用の
職員を紹介します



診療部栄養管理室
管理栄養士
羽田 純子
宮崎県延岡市からましましに管理栄養士として入職した羽田です。一人でも多くの患者様や地域の皆様に、食に対する正しい知識の情報提供を行い地域医療に貢献できるよう日々努力していきますのでよろしくお願いします。

事務部
事務局次長
藤本 淳一
7月から勤務することになりました藤本と申します。
基幹病院の一員としての役割を果たして、地域医療に貢献できるよう努めています。

看護部
看護師
山内 由美
2階病棟に勤務させて頂いています。阿蘇に移り住んで15年になります。大好きな阿蘇で少しでも皆様に貢献できればと考えています。まだまだ不慣れな所が沢山ありますが宜しくお願いします。

事務部事務局
主任
野尻 利恵
7月から医療センターに採用となりました野尻です。笑顔忘れず各部門スタッフと連携・補完し合い、地域の皆様に「信頼」される病院となりますよう、日々の業務を努めていますので、よろしくお願いします。

事務部事務局
ボイラー技師
山内 玲雄
7月からボイラー技師として働くこととなりました山内です。一日でも早く医療センターの仕組みを覚え、安心・安全に熱源機器の運転管理を行っていきます。どうぞ、宜しくお願いします。

部門紹介～リハビリテーション室～

リハビリテーション室は、平成27年4月より理学療法士6名、作業療法士3名、言語聴覚士2名、リハビリ助手1名となりました。スタッフの増員により、入院の患者様に対しては月曜日から土曜日までの週6日体制でリハビリテーションを提供できるようになりました（外来の患者様に対しては、月・水・金曜日に診療させていただいております。）、内容面でもより充実したリハビリテーションをご提供できるようになりました。



さらに、心筋梗塞等の患者様に対しても、心電図モニターやトレーニングマシン等を導入し、リハビリテーションを提供できる体制を整えております。

リハビリテーション室スタッフ一同、今後もスキルアップに取り組み、より良いリハビリテーションの提供に努めてまいります。



職員募集

募集内容	薬剤師1名	募集内容	看護師10名程度
採用予定日	随時	採用予定日	平成28年1月1日
選考方法	小論文及び面接	選考方法	小論文及び面接
受付期間	随時受付	受付期間	平成27年10月1日～平成27年10月31日
試験日時	随時	試験日時	平成27年11月10日（火）14:00～

連絡先

阿蘇医療センター 事務局企画管理係 〒869-2225 熊本県阿蘇市黒川1266 電話0967-34-0311代
応募書類、応募方法等は、当院ホームページをご覧いただくな、上記の連絡先までお問い合わせください。

トピックス

作品展示～ギャラリー紹介～

- 市民の方々との交流活動の一環として、また患者様やそのご家族への癒しの空間として、エントランスホールの南側に作品展示コーナーを設けています。
阿蘇市文化協会に所属されているグループの作品が5月は木彫、6月は絵画、7月は絵手紙、8月は書道（予定）と次々に展示され、立ち寄られた患者様やご家族に鑑賞いただいております。



院内感染研修会【中東呼吸器症候群（MERS）等の感染対策】

- 隣国でMERSが発生していることから院内感染研修会を6月12日、6月24日に実施しました。新型インフルエンザ等への職員対応について、感染管理認定看護師の柿本純子看護主任から説明の後、個人防護具脱着トレーニングも行いました。

また、8月11日に熊本県阿蘇保健所と合同で阿蘇地域中東呼吸器症候群（MERS）対策に係る患者搬送訓練を実施することとなっています。関係機関と協力しながら第二種感染症指定病院として対応できるように取り組んでいます。



MERSとは、感染してから2～14日後に、発熱や呼吸器症状（せき、息切れや呼吸困難など）を引き起こします。感染しても症状が出ない場合もあります。特別な治療方法やワクチンがないことから感染拡大防止が重要になります。

トピックス

創立記念日 5月15日（金）

- ・阿蘇中央病院の創立から65周年を迎えました。

本年も、甲斐豊院長立ち会いのもと、佐藤義興阿蘇市長から入院患者様、透析患者様にお見舞いをしました。



除草作業 5月30日（土）

- ・途中から小雨の降る中、下役犬原老人会の皆様がボランティアで除草作業を行っていただきました。

お蔭できれいになりました。ありがとうございました。



出前講座 6月16日（火）

- ・一の宮子育て支援センターで出前講座を開催しました。講師は当院小児科の橋山元浩医師で、参加された約10名の保護者やセンター職員へ子育て中によく起こる病気（発熱、嘔吐、下痢、ひきつけ、せきと鼻水、くしゃみ、発疹など）の症状や、薬の服用方法についてなどについて、子育てに携わる保護者などの目線での講話でした。

話が終わつたあとも、保護者の方々からいろいろな相談がありました。



糖尿病教室 6月19日（金）

- ・当院講堂にて糖尿病教室が開催されました。

今回のテーマは「糖尿病と心疾患」について、当院循環器内科、由布哲夫医師からの講話がありました。

心臓の役割や狭心症などについて、イラストで分かりやすい講話で、心疾患の原因となる動脈硬化と糖尿病の密接な関係についての話もあり、参加者も真剣に聴講されました。



SAS（睡眠時無呼吸症候群）に関する勉強会 6月19日（金）

- ・「夜中トイレに起きるんです」～夜間頻尿と睡眠時無呼吸に関する循環器専門医からの提言～と題して、熊本大学医学部附属病院高度医療開発センター 心不全先端医療寄附講座 小島 淳 特任准教授を講師に迎え、病院職員約50名が聴講しました。睡眠時無呼吸症候群に対する治療が夜間頻尿や心血管疾患の発生率の低下につながることについて、データをもとに話され、当院で診療開始を予定している同じ症候群に対する知識習得を行いました。

また、当院は7月から毎週月曜日の午後2時から午後4時に睡眠時無呼吸症候群の専門外来を開設しますので、いびきがひどい、日ごろ熟睡感を得られない等でお悩みの方は早めの受診をお勧めします。



職員研究発表会及び七夕コンサート 7月4日（土）

- ・院内講堂で職員研究発表会を開催しました。発表者は17名で各専門分野についてテーマを決め、共同研究者とともに研究を行った結果をスライドを通して発表しました。発表後に表彰式が行われ、優秀者3名は院外で開催される学会に推薦されることとなりました。

また、同日の午後からは入院患者さんやそのご家族、住民の皆様に楽しいひとときを過ごしていただくため、クラシック七夕コンサートを開催しました。

演奏者に尾上香織さん（熊本ユースシンフォニーオーケストラ所属）ほか3名を迎え、日本に古くからある夏の曲、アニメ映画の曲などお年寄りから子供までなじみのある曲を弦楽四重奏で演奏されました。訪れた来場者約80名は、時には一緒に歌いながら音楽に耳をかたむけていました。



就業・職業体験学習

阿蘇市立阿蘇中学校 7月6日（月）～10日（金）5日間
熊本県立阿蘇中央高等学校 7月8日（水）～10日（金）3日間

- ・職場体験学習として、阿蘇中学校から2年生の村上星玲渚さん、市原智佳さんが7月6日（月）から7月10日（金）の5日間及び、阿蘇中央高等学校から2年生の三森沙恵さん、長田進夢さん、川路千暁さんが7月8日（水）から10日（金）の3日間、様々な医療関係の仕事を体験しました。

就業・職業体験終了の学習後は、医療関係の仕事に就くため勉強を頑張りますと言っていました。甲斐院長からも「10年後に当院で働いてください。」と期待を込めて激励されました。





行事予定

- 8月11日 職員採用試験
- 8月12日 出前講座（農村環境改善センター）
- 8月19日 院内職員研修会
- 8月21日 糖尿病教室（当院講堂）
- 8月28日 開院1周年記念講演会（当院講堂）
- 8月30日 阿蘇火山防災訓練（県総合防災訓練）
- 9月16日 院内職員研修会
- 9月18日 糖尿病教室（阿蘇都市医師会館）

ちょっと

ひと工夫簡単料理

管理栄養士 小野 恵



～焼魚のなますかけ～

材料（4人前）

鯖（4切）	240 g
塩	1.2 g
サラダ油	4 g
大根	140 g
人参	40 g
きゅうり	60 g
酢	20 g
薄口醤油	12 g
砂糖	8 g
大葉（2枚）	2 g
すりごま	4 g

作り方

- ①鯖は水気をとり、塩をしておきます。
- ②大根・人参・きゅうりは千切りにし、塩もみしてしばらく置きます。大葉も千切りにしておきます。
- ③酢・薄口醤油・砂糖を合わせ混ぜます。
- ④塩もみした野菜を洗い、水気を切ったら合わせた調味料と混ぜます。
- ⑤鯖を焼き、焼き目がつく程度に焼いたら器に盛り付けます。
- ⑥焼けた鯖の上に、調味料に漬け込んだ野菜を盛り付けます。
- ⑦千切り大葉を盛り付け、すりごまをかけて出来上がりです。

1人分	エネルギー	159kcal
	タンパク質	13.2 g
	脂質	8.9 g
	塩分	1.1 g
	食物繊維	1.1 g

コメント

冷やして、夏場にさっぱりと食べられるメニューです。この時期旬をむかえる大葉は添え物ではもったいないほど栄養豊富です。また、香り成分が高い抗酸化作用と防腐効果をもち食中毒の予防に役立ちます。同じく旬のきゅうりはカリウムを多く含み血圧を正常に保つ効果もあります。

コラム

第15回

阿蘇の山野草

～花忍～ (ハナシノブ)

花言葉「お待ちしています」



この花は絶滅危惧種でごく限られた草原や山林の場所に自生しています。花の時期は6月～7月でハナシノブ科の多年草です。

花の色は青紫。草丈は約60～100cm。

先日自生していた場所にパトロールに行ってきましたが大変ショックを受けました。一面自生していたハナシノブがほとんど無くなっていました。やっと二株見ることができました。盗掘のあとはありませんでしたので、生育環境の変化（山林化）かも知れません。

いずれにしても注意深くパトロールしていく保護していくたいと思っているところです。

環境省自然公園指導員 岩下俊自

編集後記

阿蘇中央病院から阿蘇医療センターへ、開院から8月6日で1年を迎えます。

当院に植栽された木々や芝なども根を張り、青々としてきました。少しでも患者様の癒しになればと思います。

2年目に入りますが、1年目の反省と皆様からの叱咤激励を糧に職員一同、ご期待に応えていけるよう取り組んでまいります。

梅雨明けとともに本格的な暑さを迎ますが、熱中症などにご用心ください。

平成27年7月 阿蘇医療センター広報委員会

アクセス

九州自動車道熊本ICより車で約1時間10分

あそ熊本空港より車で約1時間

JR 豊肥本線 阿蘇駅より徒歩5分



阿蘇市病院事業 阿蘇医療センター

〒869-2225 熊本県阿蘇市黒川1266
TEL0967-34-0311(代) FAX0967-34-2273
<http://www.aso-mc.jp> E-mail info@aso-mc.jp

